

AI を活用した理論物理学における特任研究員(ポスドク)の募集

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU (WPI)) では、特任研究員を募集します。 <https://academicjobsonline.org/ajo/UTokyo/KavliIPMU/AIETP2027>

採用された方は、エージェント型 AI (agentic AI) と融合させた理論物理学の研究に従事します。本プロジェクトは、理論物理学者のワークフローに統合可能な、適応性が高く、プライバシー保護にも優れたエージェント型 AI (agentic AI) システムを開発することを目的としています。実際の研究プロジェクトを通じて、その有効性を評価することも本プロジェクトの重要な要素です。物理学の強いバックグラウンドを持ち、独自の研究課題に取り組む意欲のある方からのご応募を歓迎します (研究テーマが IPMU の理論物理学者の関心領域と部分的に重複していることが望ましい)。大規模言語モデル (LLM) の経験があることが望ましいですが、必須ではありません。また、プログラミングの経験があることが望まれます。採用者は Kavli IPMU の教員である Leander Thiele と協力して研究を行うことが期待されます。

本ポジションは、JST さきがけプロジェクト「Human-AI collaboration for Theoretical Physics」 (JPMJPR26287514、研究代表者：Leander Thiele) の支援を受けています。

- **職名**：特任研究員 (ポスドク) (1 名)
- **応募資格**：着任までに物理学または関連分野の博士号 (Ph.D.) を取得していること。
- **研究内容**：Kavli IPMU に所属し、理論物理学およびエージェント型 AI (agentic AI) の研究を実施します。研究には、候補者自身の関心に基づく物理学研究に加え、研究者の非公開データを活用して能力を向上させることのできるエージェント型 AI システムエージェント型 AI (agentic AI) システムの構築および評価が含まれます。
- **契約開始時期**：2027 年 4 月 1 日着任が望ましいですが、相談に応じます。
- **雇用条件**：契約期間は 2030 年 3 月 31 日まで更新される可能性があります。予算状況や着任日によっては、2030 年 9 月 30 日まで延長される可能性があります。給与は Kavli IPMU ポスドクトラル・フェローシップと同程度で、日本国内の主要研究機関と比較しても高い水準となる予定です。
- **選考方法**：提出書類による書類選考および面接。

- **提出書類（英語書類のみ受付）**：応募書類は Academic Jobs Online の「Application Form」からアップロードして下さい。

（応募者は AcademicJobsOnline.org <https://academicjobsonline.org/> への登録が必要です）。

- CV
- Research Statement
- Publication List
- reference letter（3 通以上）
- **応募締切**：2026 年 12 月 1 日（火）（ただし、締切後の応募も審査対象となる場合があります）。
- **問い合わせ先**：本ポジションに関するお問い合わせは、Leander Thiele（leander.thiele@ipmu.jp）までご連絡下さい。
- **備考**：通勤手当は東京大学の規程に基づき支給されます。研究費が支給されるほか、採用者が自らの研究活動を支援するために日本国内の外部資金に応募することが推奨されます。

東京大学高等高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）は、数学、理論物理学、実験物理学、天文学、統計学のシナジー（相乗効果）的視点から、自然の基本法則を発見し、宇宙を解明するという挑戦的な目標を掲げています。2007 年 10 月に設立された公用語を英語とする国際的な研究機構であり、常勤研究者の半数以上が国外からきています。私たちは、多様で相互交流の盛んな組織の構築を目指しています。女性および国外からの応募を強く歓迎します。

本公募プロセスを通じて取得した個人情報は、本公募選考以外の目的には使用しません。

また、日本政府の個人情報保護および外国為替・外国貿易法（FEFTA）に関する規定改正に伴い、本募集要項にこのリンクを掲載することが義務付けられています。

<https://www.ipmu.jp/en/job-opportunities/FEFTA>